

看護学科

2年

科目名: 精神疾病治療管理論				担当教員 氏名: 田仲 耕大、高野 利明	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次 前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 【田仲】とかく難解と思われやすい精神医学ですが、まずは興味を持っていただけるような、そして将来、臨床現場で役に立つような授業内容を心掛けています。 【高野】臨床心理士としての体験事例を多く示し、実際のかかわりを理解しやすくする。					
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
精神疾患治療管理論では精神障害の症状、分類、診断、治療およびリハビリテーションなどに関する臨床医学の主要専門領域である精神医学について、看護に必要とされる基礎知識を習得する。また、家族援助の意義と留意点を臨床心理士のかかわりを通して心理学的観点から学ぶ。				精神障害の症状、分類、診断、治療、リハビリテーション、家族支援	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1. 2. 3. 5. 6. 8. 9			
A 知識・理解力		①精神疾患を成因的に分類できる			
B 専門的技術		②主要な精神疾患の概要を述べることができる			
D 問題解決力		③精神科治療に関わる治療法の特徴と各障害への適応を知る			
H コミュニケーション力		④家族援助の必要性を理解する			
		⑤家族アセスメントの方法を理解する			
		⑥かかわり方の留意点を理解する			
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 50 %	レポート: 50 %	発表: %	実技試験: %	その他: %	
特記事項: 【田仲】適宜、必要となる知識の確認をする。 【高野】レポートのテーマや提出日などは講義内で提示する。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 【田仲】毎回の授業の終了時にリアクションペーパーを記述する。まとめとして知識の確認をする。 【高野】講義で印象に残ったことに感想を入れて、レポートにまとめる。レポートはA4、1ページ。書式は自由。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 【高野】レポートにコメントをつけて返却する。 【田仲】試験終了後に答案を模範解答・解説と一緒に返却する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【田仲】序論・歴史・精神症状学			【予習】疾患と治療について考える	60分	
②【田仲】統合失調症			【復習】配布資料の確認と復習	60分	
③【田仲】気分障害			【復習】配布資料の確認と復習	60分	
④【田仲】神経症性障害、摂食障害など			【復習】配布資料の確認と復習	60分	
⑤【田仲】器質性精神障害など			【復習】配布資料の確認と復習	60分	
⑥【田仲】疾患論のまとめ			【予習・復習】まとめ	60分	
⑦【高野】家族援助の意義、家族のストレス			【復習】講義内容の整理	【復習】120分	
⑧【高野】家族のアセスメント、かかわり方の留意点			【復習】講義に関するレポートを作成	【復習】120分	
使用テキスト: 【田仲】精神看護学(1):情緒発達と精神看護の基本(ナーシンググラフィカ)、精神看護学(2):精神障害と看護の実践(ナーシンググラフィカ) 【高野】不要			その他参考文献など: ・家族が知りたい統合失調症への対応Q&A 高森信子 著(日本評論社) ・看護のための精神医学 中井久夫/山口直彦 著(医学書院)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 精神看護学援助論の履修に必要な知識を学習するので、しっかり取り組んでください。 患者や家族に対し現在の援助はチームを組んで行うのが一般的です。 他の職種が援助でどの部分を支え、どんなかかわり方をするのかを知ってください。					